

令和7年度 熊本県・菊文研文化財講座番外編 part 1
熊本県立装飾古墳館長講座

古代山城の謎は解けたか

～誰も話さなかった「鞠智城」のヒミツ 教えます～

かつて「謎の古代山城」呼ばれた鞠智城。その謎は解明されたのでしょうか？どのような状態になれば、「謎が解けた」ことになるのでしょうか？

ここでは、古代史で最も有名な「大化の改新」と、私のフィールドである「地方自治行政」、2つのワードから古代山城の謎に挑んでみたいと思います。学術的なバックボーンのない私に、鞠智城の何を語れるのか？常に調査と研究の先端に触れ、誰よりも長く深く現場で苦闘した経験を基に、机上論ではない実践論を展開します。

それは、まさに私自身がかつて最も聞いたかった内容であり、皆さんに鞠智城をより楽しんでいただくための一助となるものと思います。（「炎上覚悟！爆〇上等！！」の思いでお話しします。）

熊本県立装飾古墳館長 上村修治



日 時：令和8年3月1日（日） 13:30～15:30
会 場：鞠智城研修施設 山鹿市菊鹿町米原443-1

参加お申込 菊池川流域古代文化研究会事務局（熊本県立装飾古墳館内）

① お名前 ② 住所 ③ 電話番号 をお知らせください。

TEL 0968-36-2151 (月曜休館)

FAX 0968-36-2120

メール soushokukofun@pref.kumamoto.lg.jp

令和7年度 熊本県・菊文研文化財講座番外編 part 2
熊本県立装飾古墳館長講座

菊池川流域風土記の丘

かみよ いま よみ うつしよ
～神代から人代、黄泉から現世、そして日本誕生を追体験～

全国に849基しか確認されていない装飾古墳。その発祥の地であり、全国の4分の1にあたる212基が所在する熊本は、装飾古墳王国であると言えます。とりわけ131基が集中し、その形態も多彩な菊池川流域は、まさに装飾古墳の聖地です。そのような地域的特性に鑑み、県が整備を進めていた肥後古代の森（菊池川流域風土記の丘）の基幹施設として、平成4年（1992年）4月、全国で唯一の装飾古墳専門博物館「熊本県立装飾古墳館」が設置されました。

装飾古墳館では、極めて困難とされる装飾古墳の適正な維持管理と公開活用を推進する他、菊池川流域5地区に展開する肥後古代森を活用して、神話の世界から連線と続く歴史の学習を支援しています。

今回は、神々が活躍した神話の時代から古墳時代を経て、古代山城「鞠智城」の出現により、日本という国家が誕生していく過程を見ていきます。（「炎上覚悟！爆〇上等！！」の思いでお話しします。）

県立装飾古墳館長 上村修治



日 時：令和8年3月15日（日） 13:30～15:30
会 場：装飾古墳館集団学習室 山鹿市鹿央町岩原 3085

参加お申込 菊池川流域古代文化研究会事務局（熊本県立装飾古墳館内）

① お名前 ② 住所 ③ 電話番号 をお知らせください。

TEL 0968-36-2151 (月曜休館)

FAX 0968-36-2120

メール soushokukofun@pref.kumamoto.lg.jp